

学校法人 愛甲学院大阪

愛甲農業科学専門学校 令和7年度（2025年度）事業計画書

学校法人愛甲学院大阪は、2016年4月の設立から10年目を迎える。水耕栽培という特殊な分野を学べる専門学校の発展のため、今年度は改革と挑戦のスタートの年としたい。

その出発点としては、2026年4月からの教育内容改革にある。この改革のための準備期間として、今年度は最も重要な1年となる。具体的には、カリキュラム整備とともに実習環境の整備を行うことにある。

さらに、財務内容の改善のためには、学生募集における改革と結果が求められる。この点については、果敢にチャレンジしていきたい。

1. 教育内容の改革

令和7年度は、前年度の反省点を改善し、新たな取り組みで更なる発展を目標とし活動する。今年度の重要目標は次のとおりである。

（1）就職先の質の向上

専門学校教育の最終目的は、学生の目指す職種・企業に就職させるかにある。昨年度は、就職内定に苦慮したため、この点を改善すべく植物工場及び農業法人へのアプローチを行い、可能であれば産学連携の契約を行いたいと考える。これを、インターンシップ先及び就職先の確保につなげる。

（2）実務に即した教育内容への転換

専門学校教育で必要なことは、実社会で即戦力となる実力を身に付けることにある。そのためには、実務に即した実習の充実が必要不可欠と考える。このために、以下の点について充実を図る。

① 実習内容の充実とこれを支える実習機器及び設備の充実

② 教員の実社会が求める知識技能の情報収集と、これに対応できる教職員の知識拡大

このうち、設備環境については、次年度よりスタートする3コース運営に必要な設備を整え、これらを広報活動のツールとしても活用する。

（3）令和8年度に向けた準備

令和8年度4月入学者より、システム栽培学科に以下の3コースを設置し、入学生の増加を図る。

《設置コース》 栽培実践コース 農業×ITコース 農業ビジネスコース

これを踏まえ、教育内容を精査し特徴ある授業科目とカリキュラムが必要となる。教員の教育幅の拡大を図るとともに、必要な教育用機器備品の整備を進める。

2. 広報活動

令和8年度の3コース設置が広報上の最大のプレゼンテーションポイントとなる。学校の認知度を向上させるためにも、各コースの特長や目指す職種を明確にしたうえで、高校生に安心感と興味関心を持たせることが重要課題である。

（1）興味を持たせるプレゼントーク

説明の中心は、学校の独自性と将来性、そして即戦力に即した3コースの特長にある。また、実習では各コースの特色ある内容を実施し、興味関心を持たせるイベントとして実施する。

（2）広報イベント参加者の増加

全体的にイベント参加者の絶対数が不足している。資料請求者からのイベント参加に如何にして繋ぐかを改善する必要がある。今期は、パンフレット及びホームページの一部改訂を行い、興味と関

心度を高める工夫を行った。

(3) イベント参加の出願者の増加

出願に繋げるためには、広報イベントの満足度を高めるための工夫改善が必要となる。今年度は、リピート参加者の増加のために、説明中心のイベントと実習中心のイベントに分けて実施する。

3. 会計システムの導入

今年度より本格的な会計システムを導入する。これにより、決算書類の更なる正確性が担保できるようになる。日々の適正な会計処理が重要課題となる。

4. 教育環境整備のための設備投資

教育環境の充実及び広報の観点より、以下のとおり設備投資を計画している。

品 名	導入時期	使用目的	金 額
パソコン教室 の設置	令和7年7月	農業×ITコース 実習用	① ディスクトップ型パソコン @¥100,000×13台 = ¥1,300,000 ② パソコン用モニター @¥15,000×18台 = ¥ 297,000 ③ 教室内装整備 ¥ 500,000
計測機器 の整備	令和7年5月	栽培実践コース 実習用	① 非破壊糖度計 ¥ 108,900 ② ビタミンC測定器 ¥ 200,000 ③ ECメーター @¥10,998×10台= ¥ 109,980
6階実習室 の整備	令和7年6月	植物工場実習室	① 電気設備等工事 ¥ 900,000 ② 栽培棚 ¥ 500,000 ③ LED その他 ¥ 500,000
合 計			¥ 4,305,900